獣人（1938）

LA BETE HUMAINE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス　ロマンス
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 99分
初公開日 1950/07/15
公開情報 ＳＥＦ＝東宝

【解説】

冒頭、ゾラの原作の前書き部分が彼の署名と写真と共に出て、主人公の機関士ジャック・ルッチエ（ギャバン）の先天的な精神の病――それは祖父や父から受け継いだ血である――を説明する。自分の意志ではどうすることもできない突然の暴力の衝動。彼はその発病を恐れて、故郷に残した恋人フロールとの結婚も諦めている。ル・アーヴルに近い車両区で愛車の整備を待つ三日の間、養母やフロールと旧交を温め、戻る途中のジャックは、助役ルボーとその妻セヴリーヌ（シモン）を車中に見かける。ジャックは、彼らが養父である富豪グランモランを殺した事を知ったが、セヴリーヌの妖しい美しさに魅かれたため口外しない。セヴリーヌは殺人の共犯となった以上、夫の脅迫を受け続け、やがては殺されるだろうからと、夫の殺害をジャックに持ちかける。晦日の寮内ダンス・パーティの晩。ルボーを殺す覚悟の二人は踊りの輪を抜け出し、彼女の部屋へ。そして、抱き合ったその時、彼の内にあの衝動が甦った。側にあったナイフを手にし、セヴリーヌを刺し殺してしまったジャックは、翌朝、乗車予定の汽車に乗りこむが……。その最期のダイナミックな驀進のイメージ。そして、水の匂い漂う官能的なラブ・シーン（激しく降る雨が樋を伝ってバケツを溢れさす象徴的なショットがある）等々。Ｃ・ルノワールのカメラも際立った美しい。凄惨な殺人シーンに甘美な宴の歌声が被さる巨匠の演出は、何度観ても戦慄が走る素晴らしさだ。

【クレジット】

監督	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
原作	エミール・ゾラ	Emile Zola
脚本	ジャン・ルノワール	Jean Renoir
撮影	クロード・ルノワール	Claude Renoir
	クルト・クーラン	Curt Courant
音楽	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	ジャン・ギャバン	Jean Gabin
	フェルナン・ルドー	Fernand Ledoux
	シモーヌ・シモン	Simone Simon
	ジュリアン・カレット	Julien Carette
	ブランシェット・ブリュノワ	Blanchette Brunoy
	ジェラール・ランドリ	Gerard Landry
	ジャン・ルノワール	Jean Renoir

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.